

■ 太織度低張力糸（ふい絹）の商品化に関する総合的研究

■ 古代絹のあしぎぬを目指して



純（あしぎぬ）：繭から挽きずりだした太糸。セリシン残、撚り無し、むら有り、屑繭から農家で生産。8世紀（奈良時代）調純（ちようのあしぎぬ）（税金として納められていた）。「皇后様の御親蚕」より

■ ふい絹の製造法の原理と開発した繰糸機

低張力で糸を挽く：繭糸1本当たり0.4g以下の解じょ張力となるよう、繭糸を掴んでゆっくり挽きだし（低速で繰糸）、たるんだ分だけ巻き取る。
2通りの繰糸方法がある（フィッシングアップ法と繭糸攪拌交絡法）



フィッシングアップ法
碓氷製糸農業協同組合及び宮坂製糸所



繭糸攪拌交絡法
(株) 宮坂製糸所